

令和5年度第3回北上市総合教育会議

- 1 日 時 令和6年1月30日（火）午後3時
- 2 場 所 hokko 1階ふれあいホール
- 3 協 議 令和6年度教育関係の施策事業予算の検討状況について

4 会議に出席した構成員

市長	八重樫 浩文
副市長	及川 義明
教育長	平野 憲
教育長職務代理者	佐藤 和美
教育委員	高橋 隆紀
教育委員	照井 睦子
教育委員	小原 紀実

5 説明のため出席した職員

企画部 企画部長	斎藤 昌彦
財務部 財政課長	皆川 礼一郎
まちづくり部 まちづくり部長	高橋 景子
生涯学習文化課長補佐	後藤幸生
スポーツ推進課長	小田嶋 和広
健康こども部 健康こども部長	高橋 昌弘
子育て支援課長	久保田 達夫
教育部 学校教育課長	平賀 英和
文化財課長	佐藤 康浩
学校給食センター所長	菊池 恵理子
中央図書館長	菅野 勝文
博物館館長	渋谷 洋祐
鬼の館主任学芸員	澤藤 浩司

6 事務局

教育部 教育部長	澤藤 樹史
総務課長	石川 貴洋
総務課長補佐	高橋 顕祐

7 傍聴者

2名

8 会議の概要

令和6年度教育関係の施策事業予算の検討状況について、企画部長から説明した後、各まちづくり推進プロジェクトにおける事業の取り組み状況等を中心に意見交換した。

9 会議録

次のとおり

(開会 午後 3 時)

(1 開会)

教育部長

(2 市長あいさつ)

市長

今年度の総合教育会議では、第 1 回として第 3 次市教育大綱を協議いただいた。また、第 2 回では総合計画の中間評価をいただいている。これらを踏まえ、今回、第 3 回の総合教育会議では、新年度の教育分野における事業検討状況に対し、ご意見をいただきたい。

本日は、活発な協議をよろしくお願いしたい。

(2 教育長あいさつ)

教育長

来年度における教育分野の主要事業としては、次の 3 事業となる。

1 事業目は、統合北上中学校の建設開始である。令和 8 年 4 月に東陵中学校を統合し、新校舎で新たな中学校生活を迎えることを計画しているが、建設業の働き方改革、建設費の高騰等により計画通りの事業進捗が可能となるか、懸念している面もある。

2 事業目は、市内小中学校への校務支援システムの導入となる。県内統一のシステムとして稼働するものであり、4 月からのスムーズな運用に向けて準備を進めている。

3 事業目は、今年度の重要課題でもある市立小中学校の適正配置である。今年度中に専門家からの提言をいただく予定としており、来年度には保護者や地域の理解を得ながら計画策定を進めたい。

いずれの事業も年度内に課題を整理し、来年度に向けた取り組みを進めたい。

本日は、委員の皆様にご発言いただき、有意義な意見交換をお願いしたい。

(3 協議 令和 6 年度教育関係の施策事業予算の検討状況について)

企画部長

別紙令和 6 年度教育関係の施策事業予算の検討状況資料、まちづくり推進プロジェクトアクションプラン概要版に基づき、各

プロジェクトの主な事業を説明

(以下、説明に係る意見交換)

佐藤 和美 委員

「1 子育て寄り添いプロジェクト」におけるプロジェクト事業5「在宅育児支援給付金給付事業」に係り、令和6年度予算が令和5年度から減額となっている。少子化、保育所利用者の増加等が想定されるが、どの様な理由による減額か説明いただきたい。

また、プロジェクト事業15「結婚生活支援事業」に係り、市独自の取り組みは検討されているのか説明いただきたい。

健康こども部長

No.5「在宅育児支援給付金給付事業」については、保育料の低減措置として県と市で支援する事業をそれぞれ独自に展開しており、県が対象としていない在宅により育児を行う保護者に対し「在宅育児支援給付金給付事業」を令和5年度補正事業として実施したものである。令和5年度の事業を通じ、対象者数が約80名と確認できている。この対象者数を予算化した結果、令和5年度から減額となったものである。

No.15「結婚生活支援事業」については、市独自の制度は他市の状況等も踏まえて検討することとし、来年度は、国の制度を実施するものである。

高橋 隆紀 委員

「1 子育て寄り添いプロジェクト」におけるプロジェクト事業16「こども計画策定事業」の詳細を説明いただきたい。

健康こども部長

昨年度成立した子ども基本法に基づき策定するものであり、これまでの子ども子育て支援計画に加え、計画対象者を30代の若者まで拡張し、少子化問題に対応する計画となる。内容としても、結婚、就業に対する支援策等も盛り込み、少子化に資する施策を戦略的に策定するものである

高橋 隆紀 委員

更に対象者を広げ、子育てに特化して作成する計画と捉えてよろしいか。

健康こども部長

少子化に加え、子育て支援策等も含まれるものである。また、国際条約等も踏まえ、こどもの意見をヒアリングする必要

も生じており、子育て支援に係る総合的な計画として整備するものである。

照井 睦子 委員 プロジェクト事業9から11の保育人材確保事業に係り、市内にも保育士等の専門学校があるが、卒業後、就職する際に、市外に流出することが多い現状となっているものか、現状を教えてください。

健康こども部長 コロナ禍の最中は、市内における保育士確保を進めることが出来ていたが、今年度に入り、残念ながら、新卒の方々が、市外に就職するケースが多くなっている状況である。今後は、Uターン事業等を活用して市内保育所への再就職の支援を検討したい。

小原 紀実 委員 「2 学びの改革プロジェクト」におけるプロジェクト事業15「北上市立学校適正配置の在り方検討事業」に係り、少子化に対する新たな計画策定が必要と捉えているが、協議先の地域協議会に加え、どのような協議先を検討しているものか説明いただきたい。

次に、「3 地域をつくる文化芸術・スポーツプロジェクト」におけるプロジェクト事業12「史跡八天遺跡整備事業」に係り、施設整備の重要性を踏まえた上で、遺跡整備後の活用計画として、学校教育への反映や地域住民との連携等、現在の検討内容を説明いただきたい。

最後に、プロジェクト事業4「鬼の館30周年記念事業」に係り、記念シンポジウムや芸能公演が開催されるが、記念シンポジウムの具体的な集客手法の検討状況を説明いただきたい。また、芸能公演の開催に係り、どのような計画しているか説明いただきたい。

教育部長 「学校適正配置の在り方検討事業」については、今年度4回の検討委員会において、専門家に協議いただき、年度末に提言をいただく予定としている。今回は、前回の学校規模を主とした提言とは異なり、子ども達に対して、今後求められる教育の形、その教育に必要な学校環境という視点から検討を始め、これらを踏まえた上で、学校毎の対応を検討する必要があるとい

う内容になっている。具体的な統廃合ではなく、市の教育として学校環境をどの様に整えるべきか提言される予定である。

来年度は、この提言を踏まえて、地域と話し合いを進めることとしており、地域協議会に係る構成員等についても、専門委員の方から意見をいただく予定としている。地域協議会の前に地域における勉強会等も検討されており、提言の内容を踏まえ、具体的な進め方を検討したい。

次に、「史跡八天遺跡整備事業」については、現在は整備計画を策定しており、来年度に設計を進める予定としている。整備後は地元が指定管理を受け、地元イベント等に活用いただきたい。学校教育へも現地視察等も含め、活用することは可能と捉えており、更なる検討を進めたい。

次に、「鬼の館30周年記念事業」については、記念シンポジウムや芸能公演の詳細は、今後の検討となるが、子ども向けの事業としては、子ども達に鬼の館を身近に感じて貰うため、今年度、鬼の館入口の鬼の面モニュメントに係るリニューアルを進めている。

照井 睦子 委員

スクール・カウンセラーの市独自配置に係り、プロジェクト事業6「教育相談員設置事業」が予算的に微増となっているが、増員等の新たな事業を計画しているものか説明いただきたい。

今年度から実施しているプロジェクト事業4「教え合い・自主スペース創出事業」について、現在の利用状況を説明いただきたい。

教育部長

「教育相談員設置事業」については、給与改定等に対応したものであり、来年度も、現状の体制のままで進める予定としている。

また、「教え合い・自主スペース創出事業」については、教え合い・自主スペースとして、hoKkoに有償ボランティアの方からの指導を受けながら中高生が自主学習する場を設けたものであるが、利用率は、あまり高くない状況であり、継続して実施しながら、利用しやすい体制を整備したい。

佐藤 和美 委員

「3 地域をつくる文化芸術・スポーツプロジェクト」のプ

プロジェクト事業としての記載は無いが、令和5年度に実施されたさくらホール開館20周年記念コンサートに係り、年齢や障がい等の多様性に配慮することにより、あらゆる立場の方が文化芸術に触れることができる貴重な機会となった。更には、子どもや障がい者が文化芸術に触れる機会となったことに併せ、子どもや障がい者を理解する機会にもなったと理解している。

第2回の総合教育会議で協議された令和5年度事業の中間評価でも、「あらゆる立場の人が文化芸術に参加できるようにハードルを下げるなど、北上市文化芸術基本条例の推進につながる多様なイベントを継続実施する」との説明があったが、来年度以降の実施計画について、説明いただきたい。

まちづくり部長

さくらホール開館20周年記念コンサートは、市民の方からも高評価いただいていた。さくらホールとの指定管理契約の中で北上市文化芸術基本条例の推進につながる多様なイベントを検討したい。

副市長

様々な分野がある中で教育費の伸びが最も高い予算編成検討となっており、財務部から、今年度予算全体における教育分野の予算検討状況を説明させていただく。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、歳入歳出予算に関し教育委員会の意見を聴取することが規定され、この総合教育会議も、意見徴収の場として位置付けている。この点も踏まえ、改めて、ご意見いただきたい。

財政課長

今年度の教育分野予算57億円にたいし、来年度は、78億円となり、21億円の増額となっている。

これまでの意見交換で議題となっていない事業を説明すると、主な施設整備としては、黒沢尻北小学校及び飯豊中学校等の長寿命化工事、統合北上中学校の建設、飯豊小学校特別教室等の改築、廃校小学校の解体、スクールバス2台の更新購入、建設中の柔剣道場の取得、図書館及びさくらホールの大規模修繕等となる。

また、主なソフト事業としては、外国人語学指導助手確保事業として、県内でも比較的高めの報酬額を定め、意欲ある外国語指導者の確保を進めている。また、学校において特に配慮が

必要な児童生徒を支援するための個別指導支援事業も、拡充する予定としている。

教育長

大規模な施設整備もあり、教育分野の来年度予算は増額となる予算編成が検討されている。

教育委員の方々には、予算策定を進めるに当り、引き続き、ご意見いただきたい。

市長

子ども・子育てを最も重要視した来年度予算編成とした。

不登校の問題や障がいを持つ児童生徒への対応については、福祉分野も含めて総合的に支援が必要と捉えている。既存の子育て世代包括支援センターも、「こども家庭センター」に位置付けを変える予定としており、これまで以上に多角的な視点で検討を進める必要があると捉えている。

引き続き、教育委員の方々からの意見を踏まえた検討を進めたい。

教育部長

(4 その他)

特に無し。

教育部長

(5 閉会)

(閉会 午後4時)

令和6年1月30日

会議録作成者 北上市長 八重樫 浩文